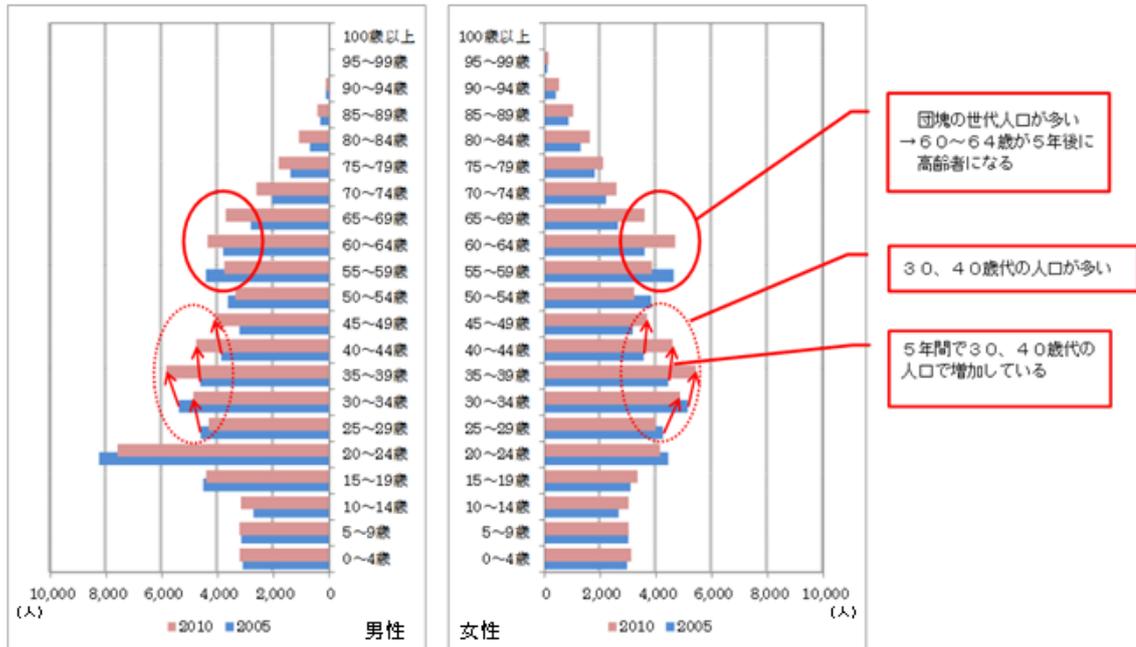


草津市と中心市街地の統計データ（人口編） その1

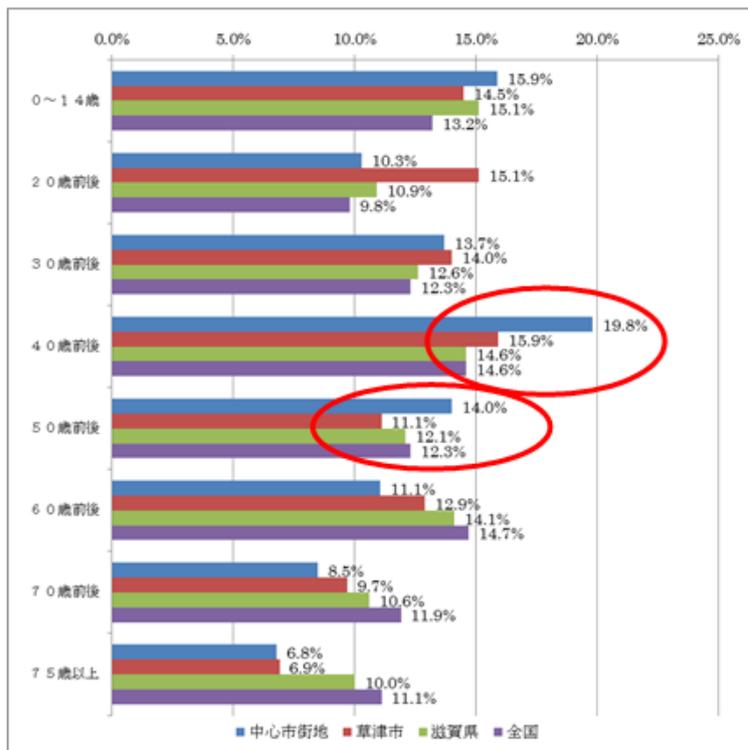
（グラフ1） 草津市の人口ピラミッド（H17、H22年国勢調査データより）

○団塊の世代の人口が多く、今後、ますます、かつ、急速に高齢化が進むと考えられる。
 ○30、40歳代の人口が多く、かつ、その世代の人口はこの5年間で増加している。
 →30、40歳代が多く転入している。



（グラフ2） 中心市街地、草津市、滋賀県、全国の各年代が全人口に占める割合の比較（H22年国勢調査データより）

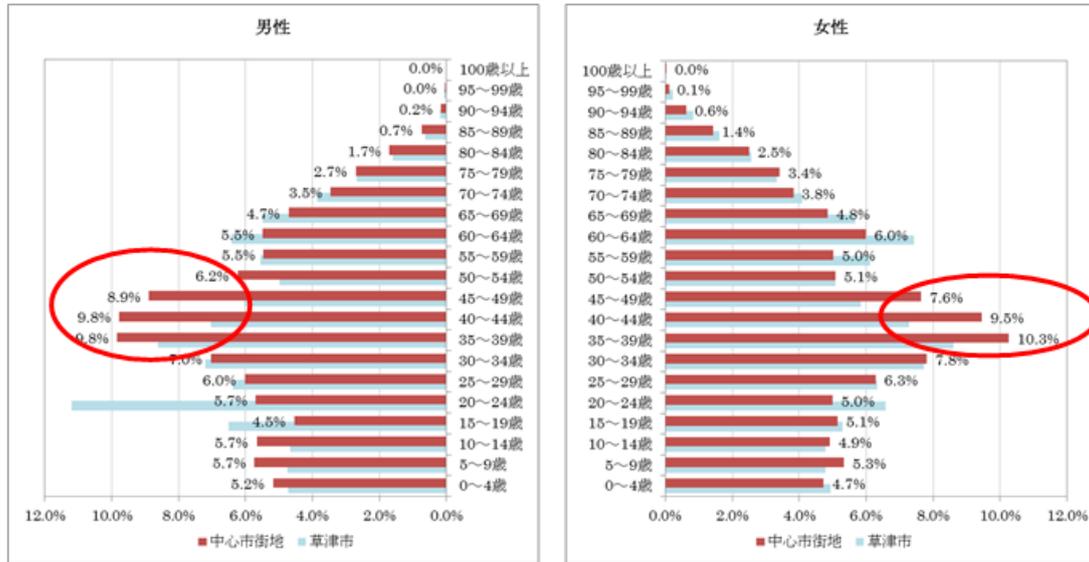
○草津市、滋賀県、全国と比べて、40、50歳前後の人口割合が高い。



草津市と中心市街地の統計データ（人口編） その2

（グラフ3） 草津市と中心市街地との人口ピラミッド（H22年国勢調査データより）

○草津市全体と比べて、中心市街地は35～54歳の人口が多い。



（グラフ4） 草津市の高齢者のみの世帯数の推移（国勢調査データより）

○高齢単身世帯、高齢者夫婦のみ世帯ともに年々増加しており、今後の増加傾向は続くと考えられる。

